

エレクトロニックコマース・セキュリティ特集

# エレクトロニックコマース・セキュリティ特集によせて

## Introduction : Special Issue on Electronic Commerce & Information Security



常務取締役・SSCプレジデント

前田 裕

Yutaka Maeda

### 1. eの時代

4～5年前にエレクトロニック・コマース(EC)という言葉が流行り、それ以来ECは一般用語としてすっかり定着してきました。しかし、言葉の流行とは裏腹に1998年位までEC市場は大きな立ち上がりを見せなかったと言えます。ところが昨年からは様相が一変し、日本においても毎日のようにネット関連ビジネスの記事が新聞の第一面、経済面、金融面を飾るようになってきました。

この背景には、従来からのインターネットサービスプロバイダ(ISP)経由でPC上のブラウザでインターネットに接続するという形態に加えて、携帯電話、特にiモードの爆発的普及、PS2(Play Station 2)の発売直後100万台突破に代表されるネット人口の急拡大があることは明らかです。このネット人口の拡大などにより、2003年にはEコマースはB to Cで約3.16兆円、B to Bで約68.4兆円の取引規模に達すると見られています(1999/3通産省発表)。

従来の情報発信中心で経済・社会活動における情報流への関わり合いが主であったインターネットから、商取引における決済(金の流れ)、そしてコンビニや宅配

を活用した物流(モノの流れ)が統合され、完結したネット社会を形成するようになってきました。

### 2. e-ソリューション

沖電気は2000年4月1日に正式にカンパニー制に移行致しました。私が担当しております「システムソリューションカンパニー」は、「e-ソリューション事業」、「カスタマコンタクトソリューション事業」、「社会インフラソリューション事業」の3つの事業分野からなります。

e-ソリューション事業は、沖の企業ビジョンであるネットワークソリューションの3番目のサービスブリッジ「ネットワークアプリケーションサービス」を中心に事業を展開しております。

e-ソリューション事業は、e-Businessのサービス&ソリューションを提供するビジネスソリューション事業部と、ERP/SCM/PDMのソリューションを提供するエンタープライズソリューション事業部から構成されております。

今回の特集のテーマである「Eコマース」は、このビジネスソリューション事業部を中心に展開しております。

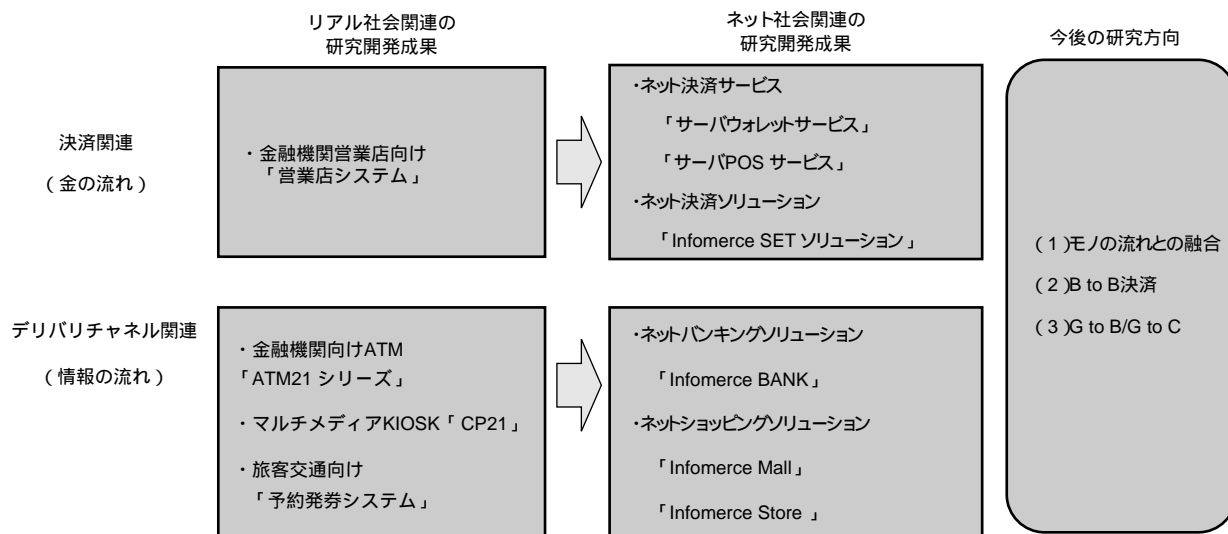


図1 沖のEコマース関連の研究開発  
 Fig. 1 Oki's research and development on electronic commerce

沖電気では、リアル社会における経済・社会活動の中心となる決済(金流)と情報流を司るサービスデリバリチャネルで優れた技術・商品を提供してまいりました。決済関連では、金融機関において決済業務の中心を担う「営業店システム」や「ATMシステム」を研究開発の成果として提供してまいりました。また、デリバリチャネルの分野でも、マルチメディアKIOSK「CP21」や旅客交通向けの「予約発券システム」を提供してまいりました。

そして、Eコマースの黎明期より、これらの技術・商品をネット社会でも活かすべく、Eコマースにおける決済とサービスデリバリチャネルの分野における研究開発を推進してまいりました。

この結果として、ネット決済系のサービス&ソリューションとネットチャネル関連のソリューションを生み出しました。その成果で社会インフラとして、インターネット決済サービスを開発し、ビジネススキームを構築し、サービス事業への参入も実現いたしました。

また、リアル系のデリバリチャネルを活用したECとして、MMKソリューション、ICカードなどのリアル決済ソリューションを開発し、提供しております。

さらに、Eコマースにおける商取引規模としてはB to

CをはるかにしのぐB to B分野で部品や消耗品の調達をサポートするMRO (Maintenance, Repair, and Operation) に関する研究開発を進め、N対N MROソリューションおよびInfomerceMROソリューション、Web EDIソリューションの3つのソリューションを提供しております。

情報セキュリティの分野でも、侵入検知システムや電子透かしなどの分野で研究開発を推進しており、セキュリティソリューションとして提供しております。

### 3. 今後の研究開発に向けて

今まで進めてまいりましたネット社会の決済&チャネル中心の研究開発に加えて、下記3分野のEコマース関連の研究開発に注力する予定です。

- (1) ネット社会における金流・情報流とリアル社会における物流の融合に関する研究
- (2) B to Bにおけるネット決済の研究
- (3) 研究成果のG to BやG to Cへの応用

従来から、現金に関わる決済サービスの分野でNo.1のITソリューションを展開してまいりました。今後はネット社会における決済分野を核として、リアルECとインターネットECを融合したソリューションの研究を進めてまいります。